



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス
 コード番号 8214 URL <http://www.aoki-hd.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 彰宏
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 田村 春生
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(TEL) 045-941-1388

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	45,205	3.0	2,603	22.7	2,614	22.4	1,848	18.1
27年3月期第1四半期	43,870	5.1	2,121	△30.0	2,135	△35.4	1,565	△12.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2,044百万円(17.2%) 27年3月期第1四半期 1,744百万円(△8.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	20.32	—
27年3月期第1四半期	17.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	225,037	139,173	61.8
27年3月期	230,166	139,675	60.7

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 139,173百万円 27年3月期 139,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	82,980	6.1	2,650	5.4	2,560	2.2	1,520	4.8	16.73
通期	192,620	4.8	20,000	5.1	19,900	5.2	11,300	10.9	124.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	91,249,504株	27年3月期	91,249,504株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	583,144株	27年3月期	66,492株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	91,000,616株	27年3月期1Q	91,184,217株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などにより全般的には緩やかな回復基調が継続しましたが、海外景気の下振れ懸念、コストや物価の上昇もあり先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような環境のなかで、当社グループは各事業において下記のような諸施策を実施した結果、売上高は452億5百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は26億3百万円（前年同期比22.7%増）、経常利益は26億14百万円（前年同期比22.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億48百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(ファッション事業)

AOKIでは、クールビズに対応しビジネスウェアに最適な機能を追求した「プレミアムウォッシュスーツ」や「ウルトラクールスーツ」に加え、新キャラクターを起用したシャツ、パンツの提案を強化するとともに、新卒採用スケジュールの変更に伴い「就活クールビズスタイル」を提案いたしました。店舗面では、未出店県であった宮崎県への1店舗を含め4店舗を新規出店した一方、移転による1店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は560店舗（前期末557店舗）となりました。

ORIHICA（オリヒカ）は、クールビズに対応したジャケット&パンツスタイルやネイビージャケット、シャツ等のキャンペーンを実施するなど提案を強化いたしました。店舗面では最大売場面積を有する大型店なんばパークスT-terrace店等10店舗を新規出店した一方、2店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は149店舗（前期末141店舗）となりました。

これらの結果、新規出店効果及び機能性商品等の提案強化で1品単価が上昇し、売上総利益率が改善したこと等により、売上高は270億48百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は9億2百万円（前年同期比120.0%増）となりました。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

ゲストハウスウェディングスタイルの挙式披露宴施設を展開しているアニヴェルセル株式会社は、施設ごとの特徴を活かした販促・PRを強化するとともに、素材やデザインなど好みに合わせて300種類以上のコーディネートが可能なアニヴェルセルオリジナルのウェディングドレスの販売を全施設で開始しました。

これらの結果、売上高は79億39百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は12億65百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

(カラオケルーム運営事業)

株式会社ヴァリックのカラオケルーム運営事業は、カラオケ最新機種を導入や春から初夏の新メニューなど期間限定メニューの提案を強化するとともに、コンセプトルームの拡充や無料Wi-Fi導入等12店舗のリニューアルを実施するなど、既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では駅前に3店舗を新規出店した結果、当第1四半期末の店舗数は、172店舗（前期末169店舗）となりました。

これらの結果、売上高は41億33百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益はリニューアルに伴う費用が増加したこと等により、85百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

(複合カフェ運営事業)

株式会社ヴァリックの複合カフェ運営事業は、アミューズメントコンテンツの拡充や女性専用エリアの導入など8店舗のリニューアルを実施するとともに、最新オンラインゲーム用パソコンの導入やフードメニューの充実等を実施し、既存店の活性化を図りました。また、快活アプリを導入し再来店の促進を図りました。店舗面では佐賀県への初出店を含め12店舗を新規出店した結果、当第1四半期末の店舗数は272店舗（前期末260店舗）となりました。

これらの結果、新規出店効果と既存店が引き続き堅調に推移し、売上高は60億93百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益は新規出店の増加に伴う費用が増加し、3億14百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ51億29百万円減少し、2,250億37百万円となりました。

流動資産は、たな卸資産が新規出店等により17億52百万円増加した一方、現金及び預金が設備投資や法人税等の支払い等により76億55百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ69億61百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が新規出店等により11億54百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ18億32百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、未払法人税等が法人税等の支払いにより33億67百万円及び買掛金が季節的要因等により17億10百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ54億85百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が借入れにより3億円及び資産除去債務が1億21百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ8億57百万円増加いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益及び剰余金の配当により2億7百万円増加した一方、自己株式を9億4百万円取得したこと等により、前連結会計年度末と比べ5億1百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績については、売上高は予想をやや下回って推移しておりますが、セグメント利益(営業利益)は計画どおり推移しており、平成27年5月8日に公表した業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,226	21,570
売掛金	8,991	5,595
たな卸資産	26,476	28,229
その他	9,112	11,455
貸倒引当金	△37	△42
流動資産合計	73,769	66,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	58,959	59,887
土地	37,095	37,013
その他(純額)	12,253	12,562
有形固定資産合計	108,308	109,463
無形固定資産	6,550	6,711
投資その他の資産		
差入保証金	8,333	8,261
敷金	20,176	20,212
その他	13,068	13,620
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	41,538	42,054
固定資産合計	156,396	158,229
資産合計	230,166	225,037
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,867	18,156
1年内返済予定の長期借入金	4,450	4,250
未払法人税等	3,789	421
賞与引当金	1,735	912
役員賞与引当金	105	30
その他	13,450	14,140
流動負債合計	43,397	37,912
固定負債		
長期借入金	35,325	35,625
役員退職慰労引当金	1,838	1,749
ポイント引当金	958	959
退職給付に係る負債	382	441
資産除去債務	4,773	4,894
負ののれん	54	47
その他	3,761	4,233
固定負債合計	47,093	47,951
負債合計	90,491	85,863

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	28,757	28,757
利益剰余金	86,658	86,866
自己株式	△45	△950
株主資本合計	138,654	137,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,229	1,402
退職給付に係る調整累計額	△208	△186
その他の包括利益累計額合計	1,021	1,216
純資産合計	139,675	139,173
負債純資産合計	230,166	225,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	43,870	45,205
売上原価	23,951	24,674
売上総利益	19,919	20,530
販売費及び一般管理費	17,797	17,926
営業利益	2,121	2,603
営業外収益		
受取利息	27	28
受取配当金	99	91
不動産賃貸料	154	152
負ののれん償却額	10	10
その他	74	60
営業外収益合計	365	342
営業外費用		
支払利息	70	82
不動産賃貸費用	136	142
固定資産除却損	22	77
差入保証金・敷金解約損	80	—
その他	41	29
営業外費用合計	351	332
経常利益	2,135	2,614
特別損失		
減損損失	18	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純利益	2,117	2,614
法人税、住民税及び事業税	301	246
法人税等調整額	250	518
法人税等合計	552	765
四半期純利益	1,565	1,848
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,565	1,848

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	1,565	1,848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	152	173
退職給付に係る調整額	26	22
その他の包括利益合計	179	195
四半期包括利益	1,744	2,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,744	2,044
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

自己株式の取得

当社は、平成27年5月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式516千株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が904百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が950百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッション 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	26,642	8,072	3,966	5,188	43,870	—	43,870
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	6	0	—	9	△9	—
計	26,645	8,078	3,967	5,188	43,880	△9	43,870
セグメント利益	410	1,253	113	356	2,134	△12	2,121

(注) 1. セグメント利益の調整額△12百万円には、セグメント間取引消去1,082百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,094百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」セグメントにおいて、店舗の移転が決定し回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては18百万円です。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッション 事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,047	7,930	4,132	6,093	45,205	—	45,205
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	9	0	—	9	△9	—
計	27,048	7,939	4,133	6,093	45,214	△9	45,205
セグメント利益	902	1,265	85	314	2,569	34	2,603

(注) 1. セグメント利益の調整額34百万円には、セグメント間取引消去1,098百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,064百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。